

名称 NGDC (National Geophysical Data Center)

日本語名 米国地球物理データセンター

親機関 NESDIS/NOAA

住所 Information Service Division, 325 Broadway, Boulder CO80303-3328

国名 U.S.A.

電話 1-303-497-6761

ファックス 1-303-497-6513

1. タイプ：国際データセンター

2. 地理的範囲：世界

3. 目的

米国海洋大気庁（NOAA）は4つの主要な計画領域のひとつとしてデータ管理を設定した。この活動の中心はNESDIS（National Environmental Satellite, Data, and Information Service）の3つのデータセンターである。

(1) NCDC (National Climate Data Center, アッシュビル, ノースカロライナ州)

大気関連の地点観測, 衛星観測データを扱う。

(2) NODC (National Oceanographic Data Center, ワシントン)

海洋に係わる各種のデータを扱う。

(3) NGDC (National Geophysical Data Center, ボールダー, コロラド州)

上層大気, 宇宙, 太陽物理, 陸地, 海洋, 地球内部, 雪氷域, 降雪など地球物理に関するデータを扱う。

NGDCは1965年に環境科学サービス庁（ESSA: Environmental Science and Service Administration）の一部として設立された。国際地球観測年（IGY, 1957-58）を契機にそれまで各省庁に分散していたデータの収集・提供活動を一元化し, また環境分野のデータを扱うことになった。これは政府が重要問題として, 地球の諸々の変化をとりあげたからである。

NGDCの組織は, 4つの主要な分野からなる。

(1) 太陽-地球物理

(2) 固体地球物理

(3) 海洋地質・物理

(4) 情報サービス

さらにNGDCはコロラド大学のCIRES（Cooperative Institute for Research in the Environment）との委託契約によって運営されている米国雪氷データセンター（NSIDC: National Snow and Ice Data Center）を所管している。

NGDCの目的は, 環境研究と公開されているデータを幅広く利用者グループへ提供することである。対象は, 私企業, 大学や教育機関, 研究機関, 連邦・州・地方政府, 外国政府, 産業界, 学会, 出版業界とマスコミ, 一般の人々である。センターは文書化された信頼できるデータを用意するためにデータ提供者と緊密に活動している。他の政府機関, 非営利団体や大学との共同プロジェクトを歓迎し, データの交換を奨励している。

4. データ管理

主としてICSUによって運営されている世界データセンター群（WDC）を通して国際的なデータ交換ができ、世界各地から利用者が地球環境データベースにアクセスできる。NGDCは300以上のデジタル・アナログデータベースを保有する。一部のデータはたいへん膨大な量であり、これらのデータを維持する効率的な方法の検討も行っている。データセンターでは常にデータ管理計画を策定しており、最新の地球物理学の知見、データを反映するよう努力している。

データ請求先及びオーダーフォームは第二部表-6を参照。

5. 協力関係

NGDCは多くの国立、国際機関や団体の活動に参加している。共同の技術、データ交換については、例えば、DIRES, CIGMA (Cooperative Institute for Geoscience Data Management and Applications)、他の世界データセンターと協力している。

6. 参考文献

NGDC/NOAA, 1990: The National Geophysical Data Center, Programs and Services, 25th Anniversary, 1965-1990. 96 p.